Wanna ride an enthusiastic car!

モリケータの エンスー的名車館

**輸入車を愛するからには一度は所有してみたい'エンスーもの'。
けれども往年の名車たちが放つ目も眩むようなオーラに惑わされずに
アタリをつかむなど、エンスー初心者にはあまりにも荷が重い。
そこでモリケータ隊長率いるオートカー中古車部が専門店に乗り込み、
'エンスーもの'のアレコレを直接聞き出してしまおうというのがこの企画。
エンスー生活を夢見る貴方になりかわり、いざ出陣!**

ダッシュボードはスイッチやダイヤルや液晶画面の陳列場ではない、という主張がよくわかるデザイン。スッキリ。古典的。ステキ。

こういうところにもひと手間かけるアルピナ。

6500からトトッと赤。7000からはベタッと赤。

ごく限られた人たちのために一流の自動車を製造する、ブルカルト・ボーフェンジーペンの有限会社。

運転姿勢はキレイにキマる。乗り降りはウザくない。

今月のエンスー車

'04 ALPINA ROADSTER S

アルピナ・ロードスターS
●'04年モデル●1.9万km●6段M/T●価格応相談

ビーエムやアルピナの 美味しいとこがぎゅう詰め

オーナーもしくはディーラーからの直接仕入れをモットーにする当ショップの一押しは、漫画のスポーツカーそのままのカタチをしたアルピナ・ロードスターSだった。

クルマの撮影はどこか景色のいいところで、とお店からいわれてるらしくて困る馬場。サッパリ諦め顔のタカハシさん。だって、外はドシャ降りぃ〜。撮影対象車はアルピナのZ4ぉ〜(オープンにしないとダッシュとか撮れないの)。ほしいのは、いい景色より屋根ぇ〜。できたら、屋内ぃ〜。

アウトリメッサ、幸いなことに屋根はあった。ガソリンスタンド改の店舗。テキトーに黄色のペンキ塗ってリフォーム完了、みたいな。たしかに、これじゃあお客をダマす目的にはまったくもって使えない。あとは、「ナンか用スかぁ?」って感じでアンチャン店員が出迎えてくれたらカンペキ。

実際に出迎えてくれたオニイチャンは優しくて礼儀正しかった。続いて、見るからにピシッとした人登場。取締役営業部長ミヤジマさん、このココロはいかに。「弊社はもともと、卸売りがメインなんです」。はい。「つまり、仕入れてきたクルマを売る先はエンドユーザーさんではなく中古車屋さんということです」はい。「そういう会社が、1年ちょっと前から小売り部門も始めました。イイものがけっこう入ってきますんで」。ほう。で、この建物関係については? 「簡単にいうと、余計なところにお金はかけないということです」。あー。中古車卸売りの株式会社TUT(タット、って地球防衛隊の一種みたい)の小売り部門がアウトメリッサ。じゃなかったアウトリメッサ。

展示場にあるクルマをザッと見てまわったところ、簡単にいうと新しくて安い。あとは、キョリ見なかったら信じられないくらい安くてキレイなのとか。「弊社の場合、オークションからクルマを仕入れてくることはありません。オーナーさんから直接か、そうでなかったらオーナーさんから直接買ったディーラーの担当者を経由して仕入れます。いずれにせよ、クルマの素性がよくわかるものしかここにはないということです」。なるほど。「そして、値段はモリさんもご覧なっておわかりのとおり。中間マージン入ってませんから。オークションへ流したら店頭価格より高く売れた、なんてこともあるぐらいの価格設定です。基本的に、お客さんに"このぐらいだったら買えるな"と思ってもらえるように値付けしてます」。

というわけでアウトリメッサ、在庫がどんな感じかはhttp://www.auto-rimessa.com/で見てみて。ご成約物件率高かったしどんどん変わってそうなので。さて撮影。あれに見えるは洗車機現役。

text: Keita Mori(森 慶太)　photo: Manabu Takahashi(高橋 学)

Wanna ride an enthusiastic car!

フロントが235/35、リアが265/30の19インチ。新車からそのままと思われるミシュランを履いていた。アルピナにはミシュラン。

荷室内にスッキリ納まるハードトップワーゲン。

フロント。一体型のサスアーム。前側ピボットはボールジョイント。

リアのスポイラー、ドイツ語ではヘックシュポイラー。

ブロックは鋳鉄。

ガオガオいわない。

SPECIFICATIONS
●新車本体価格:899.0万円●全長×全幅×全高:4100×1780×1295mm●ホイールベース:2495mm●車輌重量:1410kg●エンジン形式:フロント横置き直列4気筒、3346cc●最高出力:310ps/6300rpm●最大トルク:36.9kgm/4800rpm●変速機:6段M/T●駆動方式:後輪駆動●タイヤサイズ(F, R):235/35R19, 265/30R19

こなたへ並ぶはローダー2台。仕入れに納車に全国へ。売り物もふくめてイロイロどけてもらって場所確保。アンダーザルーフ。アルピナ・ロードスターS。アルピナの場合、車名の末尾につくSはそのシリーズの最終進化型という意味だそうです。

で、アルピナの手は特に入ってない部分だけどデタッチャブルハードトップ。それが、この個体にはついている。オプションで40万円とか50万円とかした。貴重。オーッと思ったことに、外したハードトップを立てかけておくためのキャスターつきのスタンドがZ4の荷室に入ってた。というか、荷室に入るように設計されているわけよ。

これ、すごくイイ。拍手喝采。だって、出先でどうしてもハードトップ外して走りたくなることだってあるわけだから。いやー、一本とられた。あと、その立てかけ用物件の名称。俺はキャスターつきのスタンドって書いたけど、ドイツ語ではHardtopwagenていうんだって。ハードトップの取説にそう書いてあった。英語だとHardtop trollyで、フランス語だとChariot pour hardtop。トロリーつったらトロリーで、シャリオってのは馬車でしょ。東京いぎんのトレードマーク。へー。

ココを見た人がどうしてもアルピナZ4を買いたくなるようにさらにエンスーな情報をご紹介しますと、コイツの直6はブロックがアイロン。鋳鉄。ボア×ストロークが87㎜×93.8㎜で3346cc。E46世代のM3のエンジンは、ブロックがアルミでボアストが87mm×91mmで3246ccだった。ブロック素材の違いも関係してると思うんだけど、E46M3用と違って回転フィーリングが荒々しくなかったよ。このエンジン。前乗ったら。アルピナしてた。ビーエムしてた、といってもいいかもしれない。ステアリングホイールにしても、同次期のMロードスターやMクーペと違ってリムがぶっ太くない。モコモコしてもいない。上品。アルピナですがな。

それと前後のアシ。いまみたいなベンツ流になっちゃう前の、E46系のイ〜イのがついている。パワステも、フツーのZ4はもう電動アシストになっちゃってたけどこれ(とM)は油圧……だよね?

元BMWマガジンの、編集部ニシヤマさん。ドーゾ。「油圧……だと思います。はい」。そーだよね。あんなフィーリングよくて電動だったら、俺フ●チンでグランド3周してやるわ。ニシヤマさんと。

そういうわけでアルピナZ4、絵に描いたようなスポーツカーのカタチをした車体にビーエムやアルピナの美味しいアイテムがダダダダッと詰まってるクルマなわけですよ。どーですかお客さん。

どーですかといったらここの社長。トモチカさん。ミヤジマさんもそうだったけど、きいてくるわけ。すごく熱心に。ウチのいまの在庫のなかにお好みのクルマはありますかとか。モリさんはどういった方面がお好きなんですかとか。ただの世間話って感じじゃ明らかになかったんだよね。やる気、というか売る気、あるんだねえ。

「ミヤジマのほうからも話があったと思いますけど……」。はい。聞いてます。「我々は目利きが命の商売をやってます。そういう会社が仕入れてあえて自前の看板のもとで売るクルマですから、恥ずかしいものは置いてありませんよ」。承知いたしました。ミヤジマさんもトモチカさんもディーラー経験豊富で、それもあってギョーカイ内の人脈はどうやら相当強力なのをもってるっぽい。ガイシャはもちろん、ナンなら日本車も。だからそう、ほしいクルマがいくつもあって頻繁に買い替えるような人は、ここと仲良くなっとくとかなりイイかもしんない。アウトリメッサ。A

This car & others 物件情報はコチラ

ここをクリック

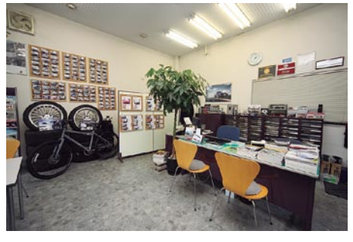
AUTOCAR JAPAN 公式サイト
www.autocar-mag.com

オートカーの公式サイトではクルマ生活をより豊かなものにしてもらうため、最新ニュースや過去のロードテストを公開している。また実際に名車に触れて欲しいという思いから、ヘッダーに中古車購入ガイドへの入り口も用意した。その先ではオートカー推薦のエンスーショップや、かつて誌面を賑わせたあの名車があなたを待っているというわけだ。まずはクリックしてみよう。

認定中古車.com「名車館」
http://meisha.ninteicyukosha.com

ここ名車館では、"趣味のクルマ"をお探しの方にオススメする、専門店の秘蔵ストックを紹介します。なかなか目にすることのない貴重なクラシックカーや、車好きが求める趣味性の高いスポーツカーなど、"最後にガレージに置きたいクルマ"との出会いをお手伝いします。

Shop of the month 今月のショップ



AutoRimessa
(アウトリメッサ)
埼玉県三郷市上彦名51-1
Phone: 048-950-1616
http://www.auto-rimessa.com/

ひとつ先の交差点からでも分かる、黄色い壁が目印の元ガソリンスタンドがこちらのショップ。スマートから599まで何でもござれのディーラー仕入れのプロなので、安心して気軽に相談できるのは嬉しい限り。

アルピナ・ロードスターSの
エンスー度
★★★★★★★★★☆

Z4って、カートゥーンに出てくるみたいな古典的スポーツカー体型でしょ? ノーズがヌーッとロングで、ドライバーはリアタイヤのすぐ前にシットダウンするという。そこで体験するクルマの動きってユニークなのよ。個体はフツーにキレイ。距離なりに。1.9万km。なお、点数にはハードトップとそれ用ワーゲンのぶん=★いっこがインクルードされております。